

景色通信 Vol.8

『浅草 3 丁目都市再生のための景観色彩調査』

環境色彩研究会（杉本賢司主査）は、浅草 3 丁目の住民組織によるまちづくりに協力するために、浅草 3 丁目と浅草寺を取り巻く通りを選んで、その区域の景観の特長や色彩の調査分析を行い、観音裏と呼ばれる浅草 3 丁目の景観将来像を組み立てるワークショップを行っています。2007 年 6 月 30 日には、応募いただいた約 30 人が、調査区域を 3~4 人の 7 組で分担する色彩調査会を開催、現地では写真撮影を行うと共に日本塗料工業会の塗料用標準色 C 版を用いて、目視による建物や看板・ゲートサインや街路灯、路面などのマンセル値測定を行いました。9 月 15 日には 23 名が集まり、7 組のチームによる調査分析の報告会が開かれました。

今後は、地元や台東区の方々にプレゼンテーションを行い、成果は次の環境色彩研究発表会でもご披露する予定です。

（永田泰弘）



芸妓さんをコーディネートする見番と植木市風景（浅草三業会館）



総勢 30 名近い浅草色彩調査隊です。(撮影：杉本主査)